

八幡川 歴史探訪 ガイドブック



【参考文献】

- 「五日市町誌」 五日市町
- 「河内村誌」 河内村振興委員会・河内公民館
- 「河内小百年史」 河内小学校
- 「創立120周年記念誌こうち」 河内小学校
- 「昭和57年ふるさと運動 郷土芸術河内の神楽と民謡」 ふるさと運動実行委員会
- 「いつがいちの民謡とくらし」 五日市民前民謡の会
- 「瀬米町誌」 瀬米町
- 「公民館二十年の歩み」 河内公民館
- 「ふるさとの歴史」 調査ふるさと運動実行委員会
- 「広島県の滝」 佐々木日剛
- 「郷土見往来日記 四路勝園」 広島市中央図書館
- 「河内の戦後史 八幡川」 広島市教育委員会
- 「'83町勢要覧 いつがいち」 五日市町
- 「公民館三十年のおゆみ」 河内公民館
- 「広島県の自然」ガイド 自然公園等保全整備促進広島県協議会
- 「中国自然歩道1900キロ」 中国新聞社

- 【編 集】 やはたがわまっぶくらぶ:歴史探訪グループ
- 【発 行】 広島市佐伯区役所
- 【協 力】 広島市五日市公民館

発行年月 2002年(平成14年)3月



高ヶ山から南方を望む



八幡川支流での木漏れ日

【八幡川の源流～河内地区】

このガイドブックは、2001年(平成13年)3月発行の「八幡川ウォーキングマップ」と合わせてご利用ください。わたしたちの住む佐伯区にも美しい所やいろんな人の暮らしがあります。是非、先人の生きた知恵を未来のために生かしていきたいものです。

【広島市佐伯区】

八幡川の源流

八幡川
歴史地図
ガイドブック

源流域の地名



砂谷地区 江戸時代の白砂(シラサ)、葛原(ツツハラ)、上伏谷(オホフシヤ)、下伏谷(シモフシヤ)の各村は、1889年(明治22年)に砂谷村(サカヤ)となり、1956年(昭和31年)に上水内村・水内村と合併して湯来町が誕生しました。砂谷地区の旧村は大字となり、杉並台団地も含まれます。

①

白砂 北に阿弥陀山、南に鷹巣山を控え、西の山腹に八幡川の発源地があり、東へ流れ河内地区に至っています。当初は葛原村と一村でしたが、村内は重光・八幡原・大山・鹿道・桐・後畑・中伏に分かれ、1889年(明治22年)に飛騨の後畑と中伏は原村(現甘日市市)に合併しました。西国街道の甘日市・玖波の宿場の助郷として伝馬を出し、生業は炭焼・割木樫・紙漉等でした。重光の重光神社(祇園社)は、白砂・葛原両村の総鎮守となっています。

江戸時代の岡崎山著「都志見往来日記」に、桐の十文字原を渡ったことが記されています。

他に鹿道・八幡原に八幡神社が、桐に新宮神社が、大山に河内神社があります。下重光に正向寺が、桐に西恩寺が、下鹿道に正楽寺があり、各寺とも浄土真宗本願寺派の古刹です。



重光神社



葛原 南に権楽寺山を控え七曲峠が通り、北は安佐南区吉山地区に至る山間地域です。地区内は、絆・木末・土井・郷(中村または葛郷)・大野原・大古谷・日浦畑に分かれています。

七曲峠には神清水の名水があり、土井には中世に山城が築かれました。西国街道の甘日市・玖波の宿場へ助郷として

伝馬を出し、山間の生業は炭焼・割木樫・紙漉等でした。

葛郷・絆に客人神社が、日浦畑に大元神社が、木末に河内神社があります。葛郷の客人神社は岡崎山著「都志見往来日記」に載り、土井には浄土真宗本願寺派最広寺があります。



客人神社

②